

法文学部・その分離独立と 同窓会

岡山大学法文経学部
同窓会会長
陶浪 保夫
Sunami Yasuo

昭和30年
法文学部法学科卒業
弁護士



現在の法学部、文学部、経済学部は、岡山大学創立時（昭和24年）の法文学部がその後分離独立したものであることは広く知られている。

岡山大学創立（開学）時の経緯については、岡山大学創立50周年記念事業委員会が編集した「岡山大学創立50周年小史一平成11年3月31日発行」に詳しく述べられている。

開学時の法文学部は第六高等学校文科を母体として、法学科、哲学科、史学科、文学部の四学科編成で、法学科は中四国で唯一置かれた学科であった。

私は昭和26年入学したが、広大なキャンパスは別として、校舎は旧兵舎を改造したものがほとんどで、環境はお世辞にも良いとは云えなかった。しかし、先輩はいずれも進取の気風に富み、勉学、サークル活動に励むなど、充実した生活を送っており、新入生であった私には“まばゆい”存在だった。彼らが卒業後各界で活躍したことはよく知られている。

その後、法文学部は経済学科の新設（昭和40年4月）文学部、法学部、経済学部への3学部分離（昭和55年4月）により現在の体制となった。また、法文学部第二部は法学部、経済学部の各第二部として設置されたが（昭和40年）平成16年4月それぞれ法学部、経済学部へ改組された。

卒業生（大学院を含む）は、現在2万5千余名を数えるにいたり、それぞれ行政、経済、言論、研究などの分野で活躍している。

法文学部同窓会がいつ発足したかについては、同窓会会則の附則に「本会則は昭和35年5月3日より実施する。」とあるところから、そのころ発足したと思われる。

同窓会では毎年岡山で総会を開催しているほか、東京、名古屋、大阪、神戸、広島、山口、香川、島根、愛媛、津山に支部が置かれ（北九州支部は現在活動を中止している）、各支部とも毎年支部総会が開催されている。支部総会には岡山から同窓会会員のほか、部局長が交替で出席し、同窓会及び大学の現況を報告

している。

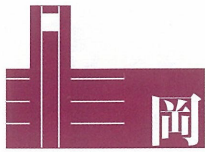
岡山や各支部総会は、出席者を確保するため種々対策を講じているが、岡山総会は一昨年小長啓一氏（1回生、全学同窓会長）、昨年は奥山雄材氏（2回生、もと郵政事務次官）などの先輩を招き講演をお願いしている。また、東京、大阪など各支部は、それぞれ講師を招いたりして支部総会を盛り上げている。名古屋支部は法文経学部の卒業生に限らず、他学部の卒業生も加わった「オール岡大同窓会」として昭和36年から継続して活動しており、平成13年には名古屋支部40年誌を発刊された。広島支部は、中国電力、マツダ、広島県庁、広島銀行に勤務する卒業生が順次支部総会の幹事役を担当し、出席者の確保に努めている。その余の支部については紙数の関係で省略する。

役員会では、同窓会が岡山大学発展のため何をなすうのかいつも問題になる。同窓会がなんらの形で貢献したと考えられるのは、50周年記念事業及び法科大学院設立に関する動きである。

50周年記念事業のうち「50周年記念館」は、教職員、卒業生、財界などの寄付により建設されたが、募金活動の中心になったのは小長啓一氏、塩飽得郎氏（1回生）、小田耕一郎氏（6回生）や他の同窓会役員であったが、金光富男氏（2回生）の高額の寄付も忘れることはできない。

また、法科大学院（法務研究科）の設立については、当時の同窓会長であった岡本貴夫氏（1回生）のほか、多くの同窓生が岡山県知事、中国銀行相談役、岡山大学の歴代学長や岡山弁護士会会長とともに設立期成会を結成して文部科学省に働きかけ、設立することができた。また、法科大学院生に対する育英資金の募集にも多大の貢献をしたことを記しておきたい。法科大学院は教員の努力により、既修コース（2年）未修コース（3年）とも、地方大学のハンディを乗り越え着実に成果を挙げている。

われわれ同窓会役員は、今後とも法文経学部同窓会の充実に努力し、岡山大学のさらなる発展に協力したいと願っている。



岡山大学の動き

「学都・岡山大学」創成へ、千葉学長第二期就任

平成20年4月1日から3年間の任期で千葉喬三学長が再任され、昨年4月23日に創立五十周年記念館にて、千葉学長第二期就任式が開催されました。



千葉学長は就任挨拶の中で、平成22年度より法人二期目（第二期中期目標期間）を迎えるに当たり、新たな目標として「学都・岡山大学」へ向け、本学を中国四国地域の学術センターとして機能させる構想を明らかにしました。

岡山大学は、法人化による天の時、利便な大学ロケーションという地の利、学術遂行上の人材資源を有する人の和を具備する中国四国地域唯一の大学です。これに加え、今後、不断の改革を行い、輝ける「学都」としての地位を確固たるものにしていきます。皆様方におかれましても、本学に変わらぬご指導・ご支援をお願いいたします。

北京五輪に本学関係者4名が出場

昨年8月に開催された北京オリンピックに現役学生1名、卒業生2名、教員1名が出場しました。オリンピック出場が決定した直後には大学内に横断幕を掲げ、7月には壮行会、10月には報告会を兼ねたシンポジウムを開催しました。

現役学生・マッチングプログラムコース2年生の小林祐梨子さんは陸上競技5,000mに出場し、予選順位13位でした。理学部地学科卒業の小林晋さん(岡山県警察本部)は10mエアピストル9位、理学部生物学科卒業・自然科学研究科修了の片山梨絵さん(Team SPECIALIZED)はマウンテンバイク20位でした。教育学研究科の瀬田幸人先生は卓球審判員として出場しました。いずれの出場選手も日本チャンピオンであり、すでに次の世界選手権、ロンドンオリンピックに向けてトレーニングに励んでいます。今後も応援をお願いします。

モダンダンス部が文部科学大臣賞

創部50年以上の歴史があり、主に創作ダンスを中心に活動している岡山大学モダンダンス部は、昨年8月、神戸で開催された「第21回全国高校・大学ダンスフェスティバル」で、初めて「文部科学大臣賞」を受賞しました。全国から多くの高校、大学が集まるこの大会で優勝できたことは、大学としても大変名誉なことです。

受賞作品の「井の蛙」は、舞台上の枠が形作る6つに区切られた空間を井戸に、中のダンサーを蛙に見立て、あえて狭い空間で展開する動きの面白さを追求したものです。直面したことのない広い世界に出会ったとき、自分の未熟さに気づき、「このままの自分で終わりにたくない。広い世界を見上げながら井の底でもがき始め、もがき続ける。諦めることなく頑張る自分でありたい。」そんな想いが込められた作品です。

津島キャンパスに岡山大インキュベータがオープン

昨年8月に津島キャンパス内に「岡山大インキュベータ」が完成し、9月1日から業務を開始しました。

この施設は、岡山県及び岡山市から要請を受けた独立行政法人中小企業基盤整備機構が、岡山大学等と連携して整備・運営する施設で、中四国で初となります。大学の研究成果をもとに新しい企業を起こそうとする個人や、新分野への進出を目指す地域企業のために貸し出されています。本学は、研究推進産学官連携機構を中核に、大学の人的・知的資源を社会に還元する体制を強化してきており、この施設のオープンを契機として、大学の研究者と地元中小企業等との連携をさらに推進し、産学官連携の拠点となることを目指しています。



法学部でホームカミングディ

法学部では、昨年9月27日、第1回のホームカミングディを開催しました。この企画は、卒業生の皆様に、母校を訪れ同窓生同士の旧交を温めていただき、また法学部の現況を知っていただく機会を持ちたいと考え始めたものです。

当日は、名誉教授の先生方をはじめ、70名を超える卒業生・現役学生に参加いただき、佐野法学部長の挨拶の後、名誉教授の阿部浩二先生から「往事茫茫一五四年を経て」と題する講演で、昔の法学部の様子や当時の教授陣の話など、大変貴重なお話を伺うことができました。その後、法学部紹介DVDの上映、小山副学部長から法学部の現状について説明がありました。引き続き開催された懇親会にも多数の方が残られ、短い時間ではありましたが、大学時代の恩師と教え子が再会し、旧交を温めるよい機会となりました。

本年以降も、ホームカミングディを開催する予定ですので、同窓生の皆様には是非ともご参加ください。

全学同窓会からのお知らせ

中国地域産学官連携コンソーシアム

昨年12月、鳥取大学とともに「中国地域産学官連携コンソーシアム事業」を立ち上げ、中国地域の国公立大学、高等学校などが連携し、地域企業との連携体制を構築する取り組みを開始しています。各大学等の知的リソース（特許情報など）を集積して一元的に提供できる体制を目指しています。

詳細は、<http://www.sangaku-cons.net/>をご覧ください。

卒業生に「生涯メールアドレス」を提供開始

本学では、平成21年1月から在学生在が使用するメールアドレスをGmailアドレスに移行しております。これに併せて、卒業生や退職教職員の方々を対象に無料で生涯利用いただける「生涯メールアドレス」を提供することになりました。

このメールアドレスは、平成21年3月の卒業生からは、在学時のアドレスをもとに提供いたしますが、それ以前の卒業生の方々には、別途ご案内の上、希望者に提供いたします。このアドレスにより、大学や同窓会からの様々な情報が受け取れるとともに、卒業生間での連絡調整にもご活用いただけます。

創立60周年“OKAYAMA UNIVERSITY YEAR”

本学は、平成21年に新制大学発足から60周年を迎えます。これを記念して、平成21年4月～平成22年3月を“OKAYAMA UNIVERSITY YEAR”として様々なイベントや施設整備事業を行っていきます。

記念事業の詳細につきましては、今後、ホームページ等で随時ご案内していきますので、これを機に是非母校に足をお運びいただきますようお願いします。

60周年記念事業ロゴマークを公募したところ、本学学生、職員、卒業生や在学生から、60点の応募作品があり、厳正な審査の上、最優秀作品1点と優秀作品3点を選び、記念品と賞状を授与しました。

最優秀作品は、60周年記念ロゴマークとして、広報活動に使用いたします。



「知」を人間の頭脳に、「岡山らしさ」を太陽に表現してデザイン▶

岡山大学同窓会役員等について

岡山大学同窓会の役員・顧問一覧です。

平成21年3月現在

役職名	氏名	備考
役員		
会長	小長啓一	法文経学部同窓会
副会長	陶浪保夫	法文経学部同窓会
〃	小谷秀成	医学部同窓会
理事	高旗正人	教育学部同窓会
〃	長尾眞彦	理学部同窓会
〃	公文裕巳	医学部同窓会
〃	中野浩輔	歯学部同窓会
〃	岡本敬の介	薬学部同窓会
〃	加藤珪一	工学部同窓会
〃	佐藤直之	環境理工学部同窓会
監事	近藤弦之介	法文経学部同窓会
〃	宮本拓	農学部同窓会
事務局長	鈴木芳弘	
顧問		
顧問	金光富男	名誉会員(法文経学部同窓会)
〃	千葉喬三	学長
〃	田中宏二	理事(企画・総務担当)
〃	※佐藤豊信	理事(教育・学生担当)
〃	岡田雅夫	理事(教育研究環境担当)
〃	※清水耕一	文系学部長(経済学部長)
〃	野木茂次	理系学部長(工学部長)

※平成20年7月5日付け新任

平成21年度総会等の開催について

岡山大学同窓会総会等は、平成20年度以降、毎年7月の第1土曜日に定例開催することとされています。

平成21年度は7月4日(土)に開催予定です。詳細については決定次第、ウェブサイトや各学部同窓会を通してお知らせいたしますので、ご参加ください。

▶住所変更等の手続きのお願い

同窓会報を皆様のお手元に確実にお届けするため、お名前・ご住所等を変更された場合は、下記事務室までご連絡ください。ご連絡いただいた情報は、皆様の所属学部同窓会にも連絡するとともに、岡山大学同窓会において適切に管理いたします。また、岡山大学21夢基金のご案内にも利用させていただきますので、ご了承ください。

連絡先：〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1

岡山大学同窓会事務室

TEL・FAX：086-251-7019

E-mail：dousoukai@adm.okayama-u.ac.jp

学部同窓会からのお知らせ

法文経学部同窓会

【岡山大学法文経学部同窓会岡山総会の開催】

日時 ●平成 21 年 7 月 3 日 (金) 18:00 ~ 20:00

場所 ●ピュアリティまきび

連絡先 ●田邊 (法文経学部同窓会事務局)

岡山市北区津島中 3-1-1 (社会文化科学研究科内)

Tel 086-251-7344 Fax 086-251-7350

E-mail: tanabe-k2@adm.okayama-u.ac.jp

【東京支部総会の開催】

日時 ●平成 21 年 7 月 24 日 (金) 18:30 ~ 20:30

場所 ●法曹会館 (東京都千代田区霞ヶ関 1-1-1)

幹事団に若干有志が積極的に参加。一期生から今年卒業したメンバーまで幅広い年代、業種の方が集まります。学部を越えて積極的に開催したいと考えておりますので、お気軽にご参加ください。お待ちしております。問い合わせ先 alumni@okayama-u.ne.jp

※名古屋・大阪・神戸・広島・山口・香川・愛媛・島根及び津山の各総支部総会は例年どおり 7 月～9 月中に開催予定です。

【名古屋支部 発足 50 年誌 原稿募集】

平成 23 年、名古屋支部は設置から 50 年を迎えますので、記念誌を発刊するよう準備に入りました。原稿は 2 千字以内が基準です。前回以上に、より一層充実した内容にしたいので各位のご協力をお願い致します。問い合わせ先 (江口剛 Tel 052-803-3604)

【島根支部 活動の報告】

平成 20 年 9 月 5 日、島根支部総会をサンラポーむらくもにて開催しました。広く声を掛けるところ、工学部・農学部・教育学部・歯学部などの同窓生も含め、総勢 35 名の有志が集まり大いに盛り上がりました。次回の目標は 100 名(?) です。



▲島根支部同窓会(平成20年9月5日)

教育学部同窓会

【近況のお知らせ】

教育学部では、現在校舎の大改修が行われています。I 期工事 (本館の北半分) が終了し、II 期工事 (本館南半分) に移っています。I 期工事の終わった部分は見違えるように明るくて美しくなりました。しかし、移転のための荷物の整理や片付けは大変でした。

「同窓会事務局」と表示された部屋が、改修後に 1 階に頂け、先日仮住まいの部屋から移転いたしました。お近くにお越しの節にはお立ち寄り下さい。

—これからの行事予定—

【会報第 10 号の発行】 3 月 10 日

【教授自主講座】

5 月 7 日 ●国語科の傾向と対策	樋口 皓迪 先生
算数・数学科の傾向と対策	平岡 弘正 先生
5 月 13 日 ●小論文の傾向と対策	樋口 皓迪 先生
面接の受け方	吉廣 俊三 先生

【平成 21 年度総会行事】

日時 ●平成 21 年 5 月 16 日 (土)

総会 10:00 ~ 11:00

講演 11:00 ~ 12:00

講師：岡山大学教育学部教授 森 熊男 先生

演題：「温故知新—教育学部の回想と現状—」

懇親会 12:00 ~ 14:00

場所 ●ピュアリティまきび

助産師同窓会

岡山大学助産師同窓会は、岡山大学医学部附属助産婦学校卒業生、岡山大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻修了生、岡山大学医学部保健学科看護学専攻 (助産学を専攻した者) 卒業生を正会員として、構成しています。現在の会員数は、平成 20 年 4 月の時点で 889 名です。

本会は、会員相互の親睦を図り、その向上、発展を図ることを目的としており、総会は定時総会と臨時総会に分けて開催しています。定時総会は 5 年に 1 回岡山で開催し、臨時総会は必要に応じて開催することになっています。

平成 20 年は定時総会の開催年であり、9 月 28 日 (日) に同窓会総会および懇親会をアークホテルで行い、計 103 人が参加しました。次回は、5 年後に開催いたします。同窓会は、役員として会長 (1 名)、副会長 (2 名)、書記 (2 名)、会計 (2 名)、会計監査 (2 名) をおき、会の運営を行っています。昨年の総会で、新役員が決まりましたので紹介します。

会 長	高杉 紘子 (11 回生)	会 計	大井 伸子 (23 回生)
副 会 長	金平 洋子 (9 回生)		小林 智子 (31 回生)
	光岡美智子 (11 回生)	会計監査	松田 尚子 (12 回生)
書 記	難波 道子 (23 回生)		合田 典子 (20 回生)
	江國一二美 (30 回生)		

同窓会の事務局は、岡山大学医学部保健学科内に置いています。同窓会の事務的な連絡は、会計の大井 (Tel & Fax: 086-235-6848) までお願いします。現在、同窓会への入会金は 1,000 円、年会費は 600 円です。年会費は同窓会の開催年に、会員には 5 年分の一括振込みのご案内をしていますので、会員の方は会費の振込みを、今後ともよろしく願いいたします。会費を納入された方には、同窓会誌 (名簿) をお送りしています。現在、同窓会誌 (名簿) を作成中ですので、6 月の中旬には発送できる予定です。

環境理工学部同窓会

平成 6 年 10 月、環境理工学部が設立されました。平成 18 年、環境理工学部同窓会は、環境数学科、環境デザイン工学科、環境管理工学科、環境物質工学科の各学科同窓会の集合体という位置づけで発足いたしました。当初 4 学科同窓会の代表が集まり、同窓会運営方法、運営規則などについて議論しましたが、各学科同窓会の履歴が異なることもあり、「とりあえず発足しよう」というようなことだったと思います。

平成 20 年 11 月 28 日、環境理工学部にて水循環施設が完成し、その開所式にお招きいただきました。この施設は、今後、緑化等の環境整備を充実させながら、実践型環境教育のフィールド実習や学外との共同研究に活用されるとのことです。建設にあたっては、学生とともに何人かの卒業生の方が協力されたそうです。

開所式の後、第 2 回環境理工学部同窓会役員会が開催されました。①水循環施設に同窓会として記念植樹を一本寄付させていただく、②就職情報提供会やホームページの充実を企画するなどが議論され、発足当初に比べると役員会が活発になってきました。

「各同窓会関係者が行事や役員会等を通じて交流していけば、学部同窓会と全学同窓会あるいは学科同窓会との関係も徐々に明確になる。また、交流することが同窓会の意義である。」と感じた一日でした。
環境理工学部同窓会 副代表幹事 奥山 一典

農学部同窓会

●岡山大学農学部同窓会会員名簿 平成 20 年版を昨年発行いたしました。

●農学部同窓会のホームページで、懐かしい農学部四季の風景なども紹介しています。是非、ご覧ください。

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/agr/dousoukai.htm>